

大震災3カ月

仙台市若林区の共働きの夫婦が、実家に預け津波にさらわれた当時8カ月の長男の姿を今も追いかけている。東日本大震災から3カ月。夫妻の時計の針は今も揺れが襲った午後2時46分で止まったまま。それでも長男と過ごした日々をアルバムに整理しながら、悲しみを受け止めることが、少しずつ前向き普通の生活を取り戻そうと。「我が子のため、半歩前へ」(1面参照)

半歩前へ

写真・気持ち整理徐々に



日、さおりさんの目の前、全然ダメだった。夫の(ゆりあけ)地区にある基礎を除き流されてい

6月7日午前、竹沢さおりさん(36)は知女性性が開く仙台市内のアルバムを整理しながら顔を覗かした。クリスマス、初詣、昨年12月に海休を終え、衣料販売店の仕事を復職してから撮りためた長男の雅ちゃんの写真に「ソッソッと装飾を添え、1冊のアルバムに整理する」ことにした。でも、笑顔を取り戻すまで、アルバムの主役は3月11日、さおりさんの目の前、全然ダメだった。夫の(ゆりあけ)地区にある基礎を除き流されてい

さおりさんには母の太友(すみさん)から「雅人は大丈夫」というメールが届いた。しかし、閉止に近い仙台空港が津波で壊れたことを見た。夫妻は急いで実家方面に車を走らせたが、この日は大雨が降っていた。翌日、よつや(見)けた家は、いまも行方分からない。男の写真を見る竹沢雅さん(8日、仙台若林区)の写真、松本勇

「どこかに避難しているのでは」。頭を切り替えるのは、さおりさん(49)は「お互いに話したことを評価したりせず、じっくり話を聞き合うことが心の癒やしにつながる。なるべく長い活動を続けたいと話している。

「ホットスポット」調査開始

福島・伊達

制限区域外放射線量高い地点

福島第1原子力発電所 放射線のモニタリング調査の結果、国の立ち入り制限区域外の福島県伊達市で、制限区域の目安とされる年間積算放射線量の推計値を超える数値が計画された「ホットスポット」があることを伊達市が確認した。伊達市の白地地区で、11日午前には県から調査を委託された電気事業連合会の調査員3人が同



農家の庭先で放射線量を測定する電気事業連の職員(11日午前、福島県伊達市)

「絶対どこか生き残っている」と気丈に振る舞っていたさおりさんは、いなくなるの？と弱音を吐くようになった。震災から2カ月が過ぎ、自宅の寝室にあった雅人ちゃんの衣服が押し入れに「見ると泣きたらしく、さおりさんが目を覚まして涙があふれた。雅人が生きていける可能性は1%もない」と守

山の事故、最多1942件

昨年266件増、警察庁調べ 死者・不明は23人減

昨年1年間に全国で発生した山岳遭難事故は1942件(前年比266件増)、遭難者は2399人(同311人増)で、統計を取り始めた1961年以降最多だったことが11日までの警察庁の集計で分かった。死者・行方不明者は294人で前年から23人減った。遭難の発生場所は、長野県が213件(最も多く北海道が123件、東京都が107件)と続いた。東京都は前年の70件から大幅に増加、登山ブームが続く中、都心からアクセスしやすい高尾山や奥多摩地方に出かける人が増えたことが理由とみられる。

西日本や東海 大雨の恐れ

梅雨前線の活発化に伴い11日、九州や四国、東海地方の一部は激しい雨となった。気象庁は昨日本から東日本にかけて広い範囲で大雨に及ぶ恐れがあるとして、土砂災害や河川の増水に警戒を呼び掛けた。落雷や竜巻などにも注意が必要という。気象庁によれば、太平洋側にある前線に向かって暖かくなった空気が流れ込み、活動が活発になった。11日午前10時までの1時間に熊本県山都町で78.7の降水量を観測した。鹿児島県、宮崎県、鹿児島県の各県では、11日午前までの24時間雨量不明者は294人で前年から23人減った。遭難の発生場所は、長野県が213件(最も多く北海道が123件、東京都が107件)と続いた。東京都は前年の70件から大幅に増加、登山ブームが続く中、都心からアクセスしやすい高尾山や奥多摩地方に出かける人が増えたことが理由とみられる。

事業継承、相続、遺言……法律インフォメーション

YODEN
余田幹男税理士事務所
(東京税理士会会員)

司法書士法人リーガルメイト
(東京司法書士会所属)